

仕 様 書

- 1 業務名 住民税課税データ入力およびイメージデータ作成業務
- 2 履行期間 契約締結日から令和9年12月28日まで
- 3 業務内容 令和9年度住民税課税のための資料（給与支払報告書・公的年金等支払報告書等）のデータ入力およびスキヤニングしたイメージデータの作成
- 4 特記事項
 - (1) 本市では令和8年11月24日に標準化システムへ移行予定である。以下のパンチおよびイメージ化の仕様については標準化システム対応のものであるが、移行後にレイアウト等変更が生じた際には、指示に基づき対応すること。
 - (2) 別紙レコードレイアウト等に基づき作成したデータを、CD-ROMに格納して納品すること。別途各種資料のスキヤニングを行うこと。スキヤニング画像は解像度200dpi、シングルJPEGで作成し、資料登録インデックスファイル（CSV形式）とともにCD-ROMに格納するものとする。
 - (3) 発注予定件数は以下のとおりである（市申告書のイメージ化は表裏で1件と数える）。

① データ入力およびイメージデータ作成	(内訳：年度別)
ア 給与支払報告書（総括表、仕切紙を含む）	21,000件（R8:20,000件・R9:1,000件）
イ 公的年金等支払報告書	200件（R8: 150件・R9: 50件）
② イメージデータ作成のみ	
ア 給与支払報告書（過年度分）	1,200件（R8: 100件・R9:1,100件）
イ 公的年金等支払報告書（過年度分）	800件（R8: 100件・R9: 700件）
ウ 確定申告書（過年度分）	6,500件（R8: 1,200件・R9:5,300件）
エ 市申告書（過年度・両面）	5,000件（R8: 3,400件・R9:1,600件）
オ 送付先届出書	800件（R8: 400件・R9: 400件）
カ 異動届出書	4,900件（R8: 1,200件・R9:3,700件）
キ 切替申請書	1,300件（R8: 300件・R9: 1,000件）

※個人番号入力については、本人と配偶者分のみとし、配偶者以外の被扶養者分の入力是不要とする。
 - (4) 上記のデータは、約200件を1バッチとして送付するものとする。
 - (5) 課税資料に連番を打番してからイメージスキャンを行うこと。
 - (6) 課税資料等の引渡しおよびデータの納品日については、契約後別途打ち合わせにより、決定するものとする。
 - (7) 資料の運搬については、受託者が行うこと。運搬する際は、盗難・紛失等に十分注意すること。運搬時に使用する箱は、施錠ができ、資料が汚損等しないものとする。
 - (8) 必要に応じて、作業を視察する場合がある。

- (9) 契約後速やかにテストデータによる本市システムへの取込みテストを行うものとする。
- (10) 発注予定件数と実際の発注件数との乖離については、当初契約時における各項目の単価に実際の発注件数を乗じて、それを集計した金額（各項目の算定金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額を集計）で変更契約を締結する。
- (11) 支払いについては、各年度ごとに支払う。
- (12) 本業務の履行にあたっては、守山市個人情報保護条例（平成 14 年守山市条例第 36 号）を遵守するとともに、「委託契約に係る誓約書」の写しを提出すること。
- (13) 本業務の履行にあたっては各種法令、契約事項・本仕様書および監督員の指示に基づくこと。また、入力においては計算チェック・エラーチェックを受託者において行うこと。
- (14) 監督員の指示に従い、別に定める必要書類を提出すること。
- (15) その他必要な事項は担当課に事前に協議すること。

個人住民税

1.パンチ共通仕様（令和8年度版）

1.1.入力票一覧

入力する原票は以下の表のとおりです。

帳票NO、帳票枚数識別値は、イメージパンチ時にイメージファイルのファイル名を付与する際に使用します。

（イメージファイル名作成仕様については別紙「イメージファイル仕様」を参照してください。）

入力票名称	帳票NO	帳票枚数識別値	パンチファイル名
確定申告書A	260	0(可変)	JASHINKOKUSYO.CSV
確定申告書B	260	0(可変)	JASHINKOKUSYO.CSV
確定申告書B(分離分)	260	0(可変)	JASHINKOKUSYO.CSV
確定申告書A(還付分)	260	0(可変)	JASHINKOKUSYO.CSV
住民税申告書	300	※1	JASHINKOKUSYO.CSV
住民税申告書（バーコード有）	300	0(可変)	JASHINKOKUSYO.CSV
住民税申告書・分離課税用	300	※1	JASHINKOKUSYO.CSV
給与支払報告書	010	※2	DAKYUHO.CSV
公的年金等支払報告書	020	※2	DAKYUHO.CSV

※1．表面のみスキヤニングする場合は、「1（固定）」

両面スキヤニングする場合は、「2（固定）」を設定します。

住民税申告書+添付資料がある場合につきましては、「0（可変）」と設定してください。

※2．インデックスファイルは不要です。

1.2.ファイルの仕様について

<媒体>

コンパクトディスク（CD-R）・・・3.5 インチ、640MB、FAT 形式

ハードディスク（HDD）・・・3.5 インチ、FAT 形式

媒体については上記の他、DVDなども使用可能です。パンチデータ及びイメージデータを基幹系システムで読み込むことができる媒体を選択してください。その他の媒体については別途検討が必要となります。

<文字コード>

Shift-JIS

<ファイル形式>

パンチファイル・・・カンマ区切りテキストファイル（CSV ファイル）（可変長）

パンチインデックスファイル・・・カンマ区切りテキストファイル（CSV ファイル）（可変長）

イメージファイル・・・画像形式（TIFF：モノクロ（白黒）、JPEG：カラー）

<ファイル名>

パンチファイル・・・DAKYUHO.CSV、JASHINKOKUSYO.CSV

インデックスファイル・・・index.csv、・・・、index.csv（詳細はパンチインデックス入力仕様を参照）

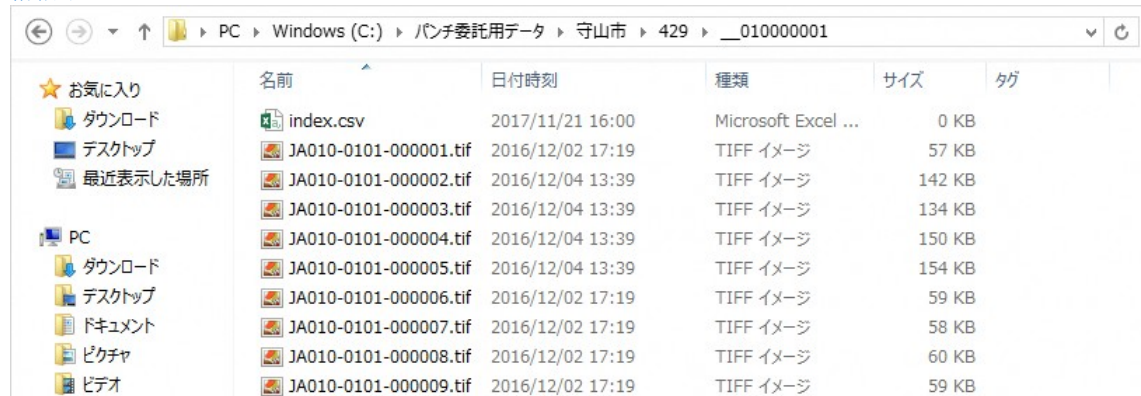
イメージファイル・・・JA010-0101-000001.tif 等（詳細はイメージファイル仕様を参照）

1.3.ファイルの格納について

入力原票の内容をパンチしたデータ（パンチファイル）、およびイメージエントリを使用する場合にはパンチファイルとイメージを結びつけるためのパンチインデックスファイルおよびスキナで作成したイメージファイルが必要です。パンチファイル、パンチインデックスファイルは、「__XXXXX」（アンダーバー2つ）フォルダの直下に格納してください。

イメージファイルについては、「イメージファイル仕様(1.4.イメージファイル格納階層構成)」を参照してください。

<格納イメージ>



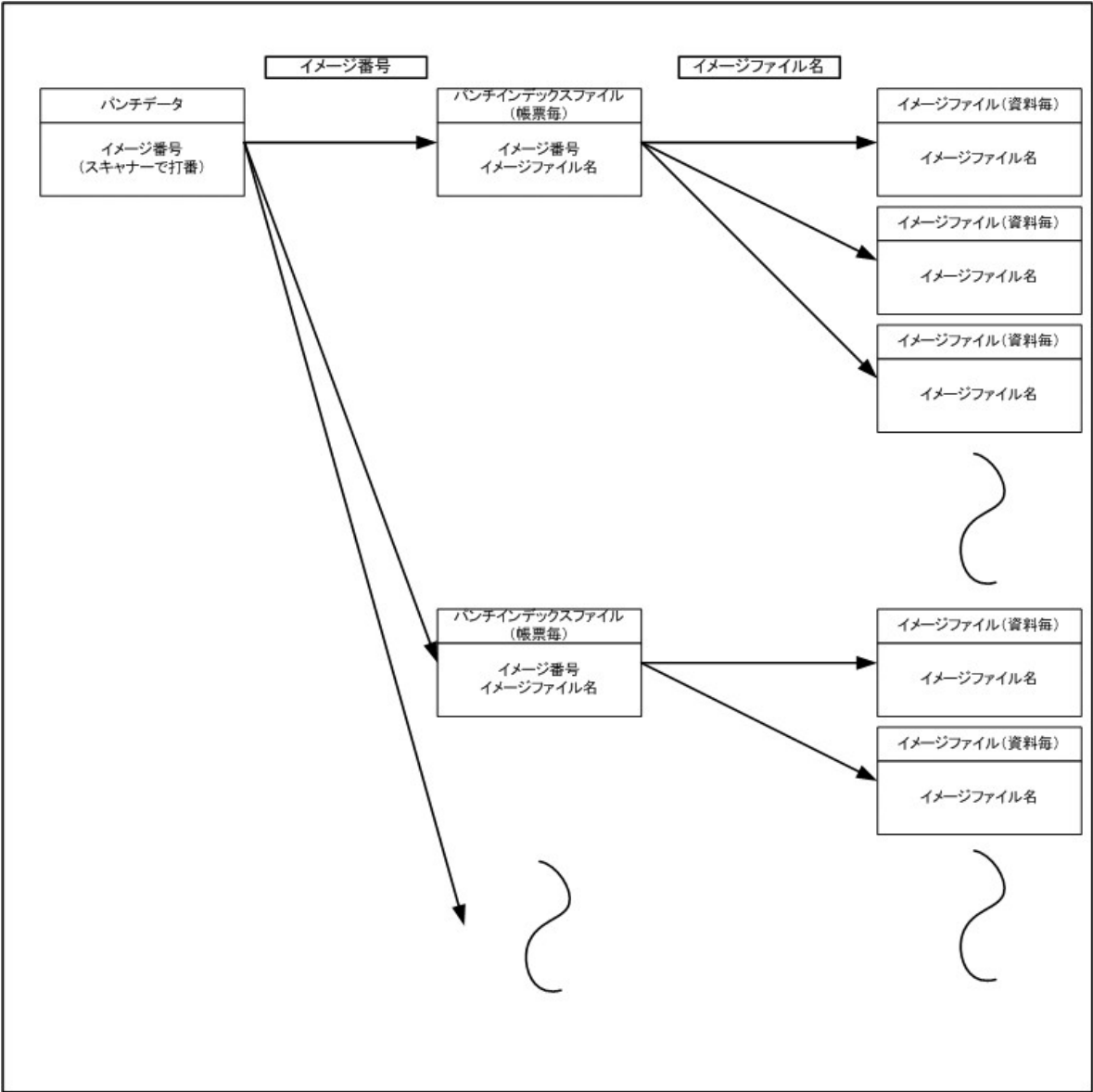
名前	日付時刻	種類	サイズ	タグ
index.csv	2017/11/21 16:00	Microsoft Excel ...	0 KB	
JA010-0101-000001.tif	2016/12/02 17:19	TIFF イメージ	57 KB	
JA010-0101-000002.tif	2016/12/04 13:39	TIFF イメージ	142 KB	
JA010-0101-000003.tif	2016/12/04 13:39	TIFF イメージ	134 KB	
JA010-0101-000004.tif	2016/12/04 13:39	TIFF イメージ	150 KB	
JA010-0101-000005.tif	2016/12/04 13:39	TIFF イメージ	154 KB	
JA010-0101-000006.tif	2016/12/02 17:19	TIFF イメージ	59 KB	
JA010-0101-000007.tif	2016/12/02 17:19	TIFF イメージ	58 KB	
JA010-0101-000008.tif	2016/12/02 17:19	TIFF イメージ	60 KB	
JA010-0101-000009.tif	2016/12/02 17:19	TIFF イメージ	59 KB	

実際に納品していただく際には以下の種類毎に媒体を分けて納品していただくようお願いいたします。

- ①確定申告書、住民税申告書
- ②給与支払報告書、公的年金等支払報告書

1.4.ファイル関連図

各ファイルの関連は、以下の通りです。



個人住民税

1.イメージファイル仕様（令和8年度版）

1.1.概要

パンチする入力原票をスキャナーで取り込んでイメージファイルを作成します。

イメージファイルは以下のとおり作成してください。

1.2.イメージファイル名

J A X X X - K K K K - N N N N N N . e x t

X X X 帳票 No（数値3桁）（パンチ共通仕様の1.1入力票一覧を参照）

__ K K K K 管理 No（アンダーバー2つ＋数値4桁）（複数冊号毎（約3000枚区切り）に一意となる番号（先頭の冊号番号等）。また、冊号ごとに一意となる番号（冊号番号等）でも可。）

N N N N N N 連番（数値6桁）

（管理 No 単位で入力原票ごとに一意となる番号（スキャナで自動付番された番号等））

複数冊号毎に管理 No を設定し同管理番号内を冊号毎に区分けしたい場合は、飛び番を起こしても構いません。

（例）管理 No.0001（冊号番号 0001～0003）

→ JA050-0001-010001 ～ JA050-0001-010300（冊号番号：0001）

JA050-0001-020001 ～ JA050-0001-020300（冊号番号：0002）

JA050-0001-030001 ～ JA050-0001-030300（冊号番号：0003）

. e x t 拡張子

（例）モノクロ（白黒） → TIFF ファイル（.tif）

カラー → JPEG ファイル（.jpg）

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

帳票に打番する位置については、顧客との打合せ後決定。

打番：JAXXX-KKKK-NNNNNN

1.3.イメージファイルについて

1 ファイル 300KB 以内とし、1 枚のイメージにつき 1 ファイルで作成してください。

カラー：2 値、解像度：300dpi

1.4.イメージファイル格納階層構成

以下の通りのフォルダ構成で、イメージファイルを媒体に格納してください。

rootー（業務コード）

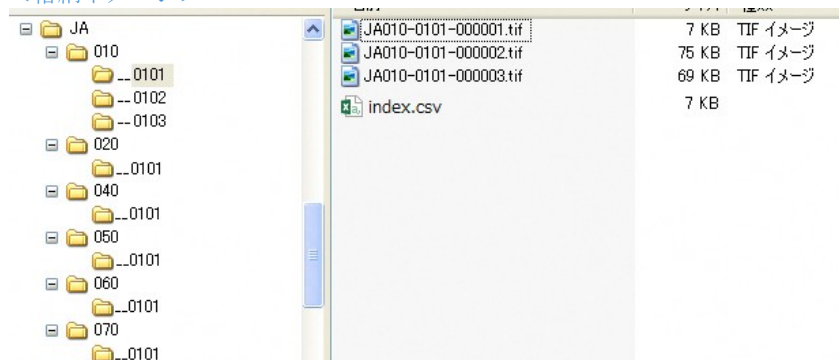
| _____（帳票NO）

| _____（__管理NO）※フォルダにはアンダーバー2つ追加

| _____イメージファイル

:

<格納イメージ>



※フォルダ名の変更と index.csv ファイルを追加

注) フォルダ構成と実際の格納ファイルの同期が取れていないとイメージの取り込みができなくなります。名称等は正確に作成してください。

個人住民税

1.給与支払報告書パンチ入力仕様（令和8年度版）

1.1.概要

給与支払報告書については、以下のようなかたまりで送付されてきます。

- ① 表紙 冊号シールが貼ってあるもの
- ② 総括表 総括表
- ③ 仕切紙 同一事業所内で徴収区分（特徴・普徴）を区別するために使用
- ④ 給与支払報告書

① が大枠で②が中枠、④が明細となります。

この内容で、CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力します。

1.2.実際のパンチ

1.2.1.表紙の入力 (①)

表紙には、バッチ連番・件数・徴収区分・入力区分・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 1（冊号）を入力
- ➡ バッチ連番 ①冊号に記入してある数値を入力
- ➡ 件数 ②表紙に記入してある件数を入力
※件数入力する市町村のみ使用
- ➡ 徴収区分 ③資料区分にチェックをつけてある名称により入力
(特徴・・・2、普徴・専給・・・1)
- ➡ 入力区分 3 0
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ➡ 年調区分 ④年調区分の番号を入力
(年調済みにチェックがあれば1、年調無しにチェックがあれば
0を入力)

1.2.2.総括表の入力 (②)

総括表には、事業所番号（指定番号）・人数・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分 2（総括表）を入力
- ➡ 件数（合計件数） ③総括表に記入してある件数を入力。
※件数入力する市町村のみ使用
- ➡ 指定番号 ⑤指定番号を入力
※普徴給報などで指定番号不明な場合は、ALL9を入力
別途、取り決めがある場合はその番号を入力
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ➡ 個人番号又は法人番号 ⑥個人番号及び法人番号を入力

1.2.3.仕切紙の入力 (③)

仕切紙には、徴収区分（特別徴収、普通徴収）が記入されています。

- ➡ 区分 4（仕切紙）を入力
- ➡ 徴収区分 ①「特別徴収」または「特徴」と記載されていれば2を入力
「普通徴収」または「普徴」と記載されていれば1を入力
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用

1.2.4.給与支払報告書の入力 (④)

明細の給与支払報告書については、サンプルに数字を振ってありますので、その個所をパンチします。

- ㊦ 区分 3 (給報) を入力
- ㊦ 整理番号 ⑥記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 受給者番号 ⑦ "
- ㊦ パンチカナ氏名 ⑧記入があればパンチ、なければ入力なし (半角カナで入力)

※ 姓名の間に1スペース入れてください。

※「ー」(長音)については「- (ハイフン)」「ー (長音)」いずれの入力でも可能です。

- ㊦ パンチ生年月日 54 和暦 7 桁で入力する。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
(元号：明治、明、M…1、大正、大、T…2、昭和、昭、S…3、平成、平、H…4、令和、令、R…5)
(例：昭和45年3月27日だった場合→3450327 と入力する。)

- ㊦ 資料番号 55 に入力があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 徴収区分 入力なし
- ㊦ 普徴区分 ⑨種別 (上段中央) に2、5と赤書き記入されていたらそのままの値をいれる。なければ入力なし。但し、専従の束では1冊全てに「2」を入力。

- ㊦ 支払金額 ⑩記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 給与所得控除後の金額 (調整控除後) ⑪記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 所得控除合計額 ⑫記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 源泉徴収税額 ⑬記入があればパンチ、なければ入力なし
- ㊦ 控対配あり ⑭にサイン (1、*、○等) があるとき1、なければ入力なし
- ㊦ 控対配老人 ⑯にサイン (1、*、○等) があるとき1、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者(特別)控除 ⑰に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 扶養特定 ⑱に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養同居老親 ⑲に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養老人合計 ⑳に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養一般 21 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害同居 22 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害合計 23 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ その他障害 24 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 社会保険料控除 25 に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の下段 (1 段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 小規模企業共済等掛金控除 2 段書きで 26 に記入があればその金額、なければ入力なし

※社会保険料等の金額の上段 (1 段のみの場合は社会保険料控除とする。)

- ㊦ 生命保険料控除 27 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 地震保険料控除 28 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 住宅取得等特別控除 29 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 前職分給与支払額 35 のあたりにある前職分給与 ??? 円 といった記入に対して
「赤○・赤下線・ピンクマーカーがある場合や、赤字で記入がある場合」にはその金額、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者所得 30 に記入があればその金額、なければ入力なし

- 新生命保険料支払額 66 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 旧生命保険料支払額 67 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 介護医療保険料支払額 68 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 新個人年金保険料支払額 69 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 旧個人年金保険料支払額 31 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 旧長期損害保険料支払額 32 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 本人未成年者 37 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 乙欄区分 38 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人特別障害 39 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人その他障害 40 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人寡婦 42 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人寡婦（特別） 入力なし
- 本人寡夫 入力なし
- 本人勤労学生 45 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人死亡退職 46 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人災害者 47 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 本人外国人 48 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 就職区分 49 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 退職区分 50 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- 年・月・日 51・52・53 に記入があればそれぞれの記入内容を入力、なければ
入力なし（YYMMDD(和暦（元号なし）前0つきの6桁で入力）
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- 国民年金保険料等の金額 56 に記入があればその金額、なければ入力なし
- 住宅借入金等控除可能額 57 に記入があればその金額、なければ入力なし。
- 居住開始年 1 58 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- 居住開始月 1 58 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- 居住開始日 1 58 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- 住宅借入金等特別控除区分 1 59 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- 借入金等年末残高 1 60 に記入があれば、記入されている金額を入力。
- 居住開始年 2 61 に記入があれば、年の内容を入力。なければ入力なし。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
- 居住開始月 2 61 に記入があれば、月の内容を入力。なければ入力なし。
- 居住開始日 2 61 に記入があれば、日の内容を入力。なければ入力なし。
- 住宅借入金等特別控除区分 2 62 に赤字でコードの記入があれば、記入されている数値を入力。
- 借入金等年末残高 2 63 に記入があれば、記入されている金額を入力。
- 住宅借入金等特別控除適用数 64 に記入があれば、記入されている数値を入力。
- 16 歳未満扶養親族 65 に記入があれば、記入されている数値を入力。

- ➡ 訂正区分 70 摘要欄に訂正等の文字があり赤○されていれば、1 を入力。
- ➡ 条約免除区分 71 摘要欄に「○○条約○○条該当」等の文字があり赤○されて
いれれば、1 を入力。
- ➡ 個人番号 76 に記載されている番号を入力
- ➡ 配偶者の個人番号 77 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 1 78 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 2 79 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 3 80 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の個人番号 4 81 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 1 82 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 2 83 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 3 84 に記載されている番号を入力
- ➡ 16 歳未満の個人番号 4 85 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族欄外の個人番号記載有無 86 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- ➡ 16 歳未満欄外の個人番号記載有無 87 に文字及び番号が記載されていれば 1 を入力
- ➡ 非居住者である親族の数 88 に記載されている数値を入力
- ➡ 基礎控除 89 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ➡ 所得金額調整控除 90 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ➡ ひとり親 91 にサイン（1、*、○等）があれば 1、なければ入力なし
- ➡ 源泉徴収時所得税減税控除済額 92 摘要欄に「源泉徴収時所得税減税控除済額○○円」とあれば、
その金額、なければ入力なし
- ➡ 控除外額 93 摘要欄に「控除外額○○円」とあればその金額、なければ
入力なし
- ➡ 非控除対象配偶者減税有 94 摘要欄にサイン（非控除対象配偶者減税有、減税有○○(同配)
があれば 1、なければ入力なし
- ➡ 特定親族 95 に記載されている番号を入力
- ➡ 特定親族特別控除 96 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の区分 1 97 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の区分 2 98 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の区分 3 99 に記載されている番号を入力
- ➡ 扶養親族の区分 4 100 に記載されている番号を入力

※住宅借入金等特別控除区分 1、2 のコード詳細は以下のとおりです。

- 1 . . . 住（住宅借入金等特別控除）
- 2 . . . 認（認定長期優良住宅）
- 3 . . . 増（特定増改築等）
- 4 . . . 震（震災特例法第 16 条適用）
- 11 . . . 住（特） ※特定取得
- 12 . . . 認（特） ※特定取得
- 13 . . . 増（特） ※特定取得
- 21 . . . 住（特特） ※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 22 . . . 認（特特） ※特別特定取得、特例取得、特別特例取得

- 24・・・震（特特）※特別特定取得、特例取得、特別特例取得
- 31・・・住（特特特）※特例特別特例取得
- 32・・・認（特特特）※特例特別特例取得
- 34・・・震（特特特）※特例特別特例取得
- 41・・・住（特家）※特例居住用家屋
- 42・・・認（特家）※特例居住用家屋
- 44・・・震（特家）※特例居住用家屋

1.2.5. 給与支払報告書の入力（未入力分）※イメージパンチを行う場合のみ使用します。

様式が違う等の理由により、内容が入力できなかった資料です。資料を枠だけパンチします。

※不明フラグ 9 のデータ

- ➡ 区分 3（給報）を入力
- ➡ 不明フラグ 9
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力

1.3. イメージ番号について

J A 0 5 0 K K K K N N N N N N （K K K K : 管理 NO N N N N N N : 管理 NO 毎の連番）

（例）J A 0 5 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0・・・管理 NO が 1 0 0 1、連番が 5 0 の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキャニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4. 不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。（フセン処理の代わりとして用いる項目です。）

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

- 0 … 入力に問題なし。
- 1 … 要確認（ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある）
 - ※項目の一部が確実に判断できない場合など。
- 9 … 未入力（資料を枠だけパンチしているので、実際に入力が必要な資料か確認していただく必要がある）
 - ※ 複写分が混じっていた場合や、異なる様式の資料であった場合。
 - ※ 入力が必要な項目は、1.2.5. 給与支払報告書の入力（未入力分）を参照してください。

◎ 表紙

冊号		①			件数		②			
資料区分	☐ 給報 (☐ 特徴 ・ ☐ 普徴 ・ ☐ 専従) ③ ☐ 年報 ☐ 簡易申告書									
	年調区分		☐ 1. 年調済み ④ ☐ 2. 年調なし							
	分類	入力区分		指定番号						

※この用紙をパンチ入力資料冊子の1枚目に添付します。

※年報で、事業所毎に管理する分では、事業所単位で添付と指定番号の記入が必要です。

※年報で、事業所毎に管理しない分では、指定番号は空欄にしてください。

◎ 総括表

令和

給与支払報告書（総括表）

指 定 番 号

⑤

年 月 日提出

給与の支払期間

令和 年 月分から 月分まで

給与支払者の
個人番号又は法人番号

⑥

フリガナ

事業種目

給与支払者の
名称又は氏名

受給者員

人

所得税の源泉徴収
をしている事務所
又は事業所の名称

特別徴収対象者

人

フリガナ

報告
普通徴収対象者
(退職者)

人

同上の所在地

郵便番号

人員
普通徴収対象者
(退職者を除く)

人

給与支払者が
法人である場合
の代表者の氏名

報告人員の合計

③ 人

連絡者の氏名、
所属課、係名
及び電話番号

課 係

氏名

(電話)

所 税 務 署 轄 名

税務署

給与の支払方法
及びその期日

関与税理士氏名

氏名
(電話)

納入書の送付

必要 ・ 不要

(〇〇市提出用)

◎ 仕切り紙

区分4 給与支払報告書仕切り紙①

4-1

① ☐ 特別徴収者 _____ 人	
住民税の<u>特別徴収（給与天引きする人）</u>の給与支払報告書はこの用紙以降に綴じて提出してください。 ※給与支払報告書は、下記の順に綴ってください。 総括表 仕切り紙① → この用紙はここにはさみこんでください。 特徴給報 仕切り紙② 普徴給報	
① ☐ 普通徴収者 _____ 人	
住民税の<u>普通徴収（給与天引きしない人）</u>の給与支払報告書はこの用紙以降に綴じて提出してください。 ※給与支払報告書は、下記の順に綴ってください。 総括表 仕切り紙① 特徴給報 仕切り紙② → この用紙はここにはさみこんでください。 普徴給報	

◎ 仕切り紙（普通徴収申請書など）

※普通徴収の仕切り紙の代わりとして使用する

普通徴収申請書		
〇〇市長あて		指定番号
		事業者名
この用紙以降の者は、下記理由で特別徴収できないため、普通徴収として申請します。		
略号	申請理由（下記7項目以外の理由は不可）	人数
A	給与の支払期間が1月を超える期間によって定められている給与のみ	人
B	外国航路を航行する船舶の乗組員で、1月を超える期間以上乗船するため慣行として不定期	人
C	総受給者数（乙欄・退職者を除いた合計）が2名以下	人
D	退職している（又は5月末日までに退職予定）	人
E	給与が少なく個人住民税額が引ききれない	人
F	給与の支払いが不定期又は通年の雇用ではない	人
G	他の事業所で特別徴収をする（乙欄該当者）	人
普通徴収申請者 合計人数		人
～重要～ ○この申請書は、普通徴収申請者（特別徴収できない人）の個人別明細書の上に付けて提出してください。 ○普通徴収申請者の個人別明細書摘要欄には、必ず略号（A～G）を記入してください。		

◎ 給与支払報告書（個人別明細書）

※										※種 別					※整 理 番 号					※												
										9					6																	
支 払 受 け 者	住 所	※区分										(受給者番号) 7																				
												(個人番号) 76																				
												(役職名)																				
		氏 名					(フリガナ) 8																									
種 別					支 払 金 額					給与所得控除後の金額 (調 整 控 除 後)					所得控除の額の合計額					源 泉 徴 収 税 額												
					10					11					12					13												
(源泉)控除対象配偶者の有無等			配 偶 者 (特 別) 控 除 の 額			控 除 対 象 扶 養 親 族 の 数 (配 偶 者 を 除 く 。)										16歳未満 扶養親族 の 数			障 害 者 の 数 (本 人 を 除 く 。)			非居住者 である 親族の数										
有 従有			老人			特 定		老 人		そ の 他		特 親					特 別		そ の 他													
14			16			18		19		20		21		95			65			22		23		24		88						
特定親族特別控除の額					社会保険料等の金額					生命保険料の控除額					地震保険料の控除額					住宅借入金等特別控除の額												
96					26 25					27					28					29												
(摘要)																																
70 71 92 93 94																																
35 前職分給与 円																																
生命保険料 の金額の内 訳			新生命保険料 の金額			66 円			旧生命保険料 の金額			67 円			介護医療保 険料の金額			68 円			新個人年金 保険料の金額			69 円			旧個人年金 保険料の金額			31 円		
住 宅 借 入 金 等 特 別 控 除 の 内 訳			住宅借入金等 特別控除適用数			64			居住開始年月日 (1 回目)			58			住宅借入金等特別 控除区分(1 回目)			59			住宅借入金等 年末残高(1 回目)			60			円					
			住宅借入金等 特別控除可能額			57 円			居住開始年月日 (2 回目)			61			住宅借入金等特別 控除区分(2 回目)			62			住宅借入金等 年末残高(2 回目)			63			円					
(源泉・特別) 控除対象 配偶者			(フリガナ)										配偶者の 合計所得			円 30			国民年金保険 料等の金額			円 56			旧長期損害 保険料の金額			円 32				
			氏 名																												区分	
			個人番号 (77)																													
			(フリガナ)										16 歳 未 満 の 扶 養 親 族			円			基礎控除の額			円 89			所得金額 調整控除額			円 90				
氏 名										区分 (97)																						
			個人番号 (78)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (79)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (80)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (81)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (82)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (83)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (84)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													
			個人番号 (85)																													
			(フリガナ)																													
			氏 名																													

個人住民税

1. 公的年金等支払報告書パンチ入力仕様（令和 8 年度版）

1.1. 概要

公的年金等支払報告書については、以下のようなかたまりで送付されてきます。

- ① 表紙..... 冊号シールが貼ってあるもの
- ③ 公的年金等支払報告書
- ① が大枠で③が明細となります。

この内容で、CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力します。

1.2. 実際のパンチ

1.2.1. 表紙の入力 (①)

表紙には、バッチ連番・件数・指定番号・徴収区分・入力区分・イメージ番号が記入されています。

- ➡ 区分..... 1（冊号）を入力
- ➡ バッチ連番..... ①冊号に記入してある数値を入力
- ➡ 件数..... ②件数に記入してある件数を入力
※件数入力する市町村のみ使用
- ➡ 指定番号..... ⑥指定番号に記入してある数値を入力（なければスペース）
- ➡ 徴収区分..... 3 をセット
- ➡ 入力区分..... ⑤入力区分に記入してある数値を入力
- ➡ 不明フラグ..... イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号..... スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用

1.2.2. 公的年金等支払報告書の入力 (③)

公的年金等支払報告書については、サンプルに数字を振ってありますので、その個所をパンチします。

- ➡ 区分..... 3（年金報告書）を入力
- ➡ パンチカナ氏名..... ⑥記入があればパンチ、なければ入力なし （半角カナで入力）
※ 姓名の間に 1 スペース入れてください。
※「一」（長音）については「-（ハイフン）」「ー（長音）」いずれの入力でも可能です。
- ➡ パンチ生年月日..... ⑦和暦 7 桁で入力する。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
（元号：明治…1、大正…2、昭和…3、平成…4、令和…5）
（例：昭和 4 5 年 3 月 2 7 日だった場合→3450327 と入力する。）
- ➡ 資料番号..... 55 に記入があればパンチ、なければ入力なし
※資料番号入力市町村のみ使用
- ➡ 徴収区分..... 3（普徴）を入力
- ➡ 控対配あり..... ⑩でサイン（1、*、○等）があれば 1、なければ入力なし
- ➡ 控対配老人..... ⑪にサイン（1、*、○等）があるとき 1、なければ入力なし

- ㊦ 扶養特定 ㊸に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養老人合計 21 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 扶養一般 22 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害同居 27 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 特別障害合計 23 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ その他障害 24 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 社会保険料控除 25 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別障害 ㊴にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 本人その他障害 ㊵にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 1 ㊸記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 1 ㊹記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 2 ㊺記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 2 ㊻記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金支払金額 3 ㊼記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 3 ㊽記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ㊦ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ㊦ 16 歳未満扶養親族 26 に記入があればその人数、なければ入力なし
- ㊦ 本人特別寡婦 入力なし
- ㊦ 本人寡婦寡夫 29 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 配偶者所得 30 に記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 訂正区分 70 摘要欄に訂正等の文字があり赤○されていれば、1 を入力。
- ㊦ 年金支払金額 4 72 記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 年金源泉税額 4 73 記入があればその金額、なければ入力なし
- ㊦ 個人番号 76 に記載されている番号を入力
- ㊦ 配偶者の個人番号 77 に記載されている番号を入力
- ㊦ 扶養親族の個人番号 1 78 に記載されている番号を入力
- ㊦ 扶養親族の個人番号 2 79 に記載されている番号を入力
- ㊦ 16 歳未満の個人番号 1 82 に記載されている番号を入力
- ㊦ 16 歳未満の個人番号 2 83 に記載されている番号を入力
- ㊦ 非居住者である親族の数 88 に記載されている数値を入力
- ㊦ 本人ひとり親 91 にサイン（1、*、○等）があれば1、なければ入力なし
- ㊦ 源泉徴収時所得税減税控除済額 92 摘要欄に「源泉徴収時所得税減税控除済額〇〇円」とあれば、
その金額、なければ入力なし
- ㊦ 控除外額 93 摘要欄に「控除外額〇〇円」とあればその金額、なければ
入力なし

1.2.3. 公的年金等支払報告書の入力（未入力分）※イメージパンチを行う場合のみ使用します。

様式が違う等の理由により、内容が入力できなかった資料です。資料を枠だけパンチします。

※不明フラグ9のデータ

- ☞ 区分 3（年金報告書）を入力
- ☞ 不明フラグ 9
- ☞ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力

1.3. イメージ番号について

J A 0 6 0 K K K K N N N N N N （K K K K : 管理NO N N N N N N : 管理NO毎の連番）

（例）J A 0 6 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0 ・ ・ ・ 管理NOが1 0 0 1、連番が5 0の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキャニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4. 不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。（フセン処理の代わりとして用いる項目です。）

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

- 0 … 入力に問題なし。
- 1 … 要確認（ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある）
 - ※項目の一部が確実に判断できない場合など。
- 9 … 未入力（資料を枠だけパンチしているので、実際に入力が必要な資料か確認していただく必要がある）
 - ※ 複写分が混じっていた場合や、異なる様式の資料であった場合。
 - ※ 入力が必要な項目は、1.2.3. 公的年金等支払報告書の入力（未入力分）を参照してください。

◎ 表紙

冊号		①			件数		②		
資料区分	☐ 給報 (☐ 特徴 ・ ☐ 普徴 ・ ☐ 専従) ☐ 年報 ☐ 簡易申告書								
	年調区分		☐ 1. 年調済み ☐ 2. 年調なし						
	分類	入力区分	⑤		指定番号				⑥

※この用紙をパンチ入力資料冊子の1枚目に添付します。

※年報で、事業所毎に管理する分では、事業所単位で添付と指定番号の記入が必要です。

※年報で、事業所毎に管理しない分では、指定番号は空欄にしてください。

◎ 公的年金等支払報告書

公的年金等支払報告書(個人別明細書)														※種 別		※					
支払を受ける者														個人番号							
														住 所							
														(フリガナ)				生年		月日	
														氏 名				明 治		大 正	
						昭 和															
区分		支 払 金 額		源 泉 徴																	
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分		千 円																			
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分																					
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分																					
所得税法第203条の3第7号適用分																					
本 人		源泉控除対象配偶者の有無等		控除対象扶養親族の数		16歳未満の扶養親族の数		障害者の数													
特 別 障害者		その他の 障害者		ひとり親 寡婦		一般 老人		特定 老人 その他													
(77)				(30)		(78)		(82)		(88)		(25)									
源泉控除対象配偶者		控除対象扶養親族																			
(フリガナ)		区分		配偶者の合計所得		(フリガナ)		区分		(フリガナ)		16歳未満の扶養親族の数									
氏名				(79)		氏名		(83)		氏名		1									
個人番号				48万円以下		個人番号				個人番号											
(摘要)						(フリガナ)		区分		(フリガナ)		2									
						氏名				氏名											

個人住民税

1.申告書パンチ入力仕様（簡易・簡易分離）

1.1.概要

申告書については、表紙+申告書といったかたまりで送付されてきます。

表紙レコード及び、申告書レコードを CSV 形式（カンマ編集）で出力します。

1.2.実際のパンチ

1.2.1.表紙の入力

一つのかたまりの表紙については、

- ➡ 区分 1（冊号）
- ➡ バッチ連番 ①冊号に記載してある番号を入力
- ➡ 件数 ②件数に記載してある件数
- ➡ 資料区分 ③資料区分に記載してある資料の種類で決定
(簡易申告・簡易分離（住民税申告書）：1)
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用

以上の内容で出力します。

1.2.2.申告書の入力

- ➡ 区分 3（申告書）
- ➡ パンチカナ氏名 ⑥に記入があればそれを入力。以外は入力なし （半角カナで入力）
※ 姓名の間に 1 スペース入れてください。
※「ー」（長音）については「-（ハイフン）」「ー（長音）」いずれの入力でも可能です。
- ➡ パンチ生年月日 ⑭に出力している生年月日を和暦の 7 桁に変換してセット。
年に「元」と入力されている場合「01」と入力する。
(元号：明治…1、大正…2、昭和…3、平成…4、令和…5)
(例：昭和 4 5 年 3 月 2 7 日だった場合→3450327 と入力する。)
- ➡ 宛名番号 ⑤に出力している宛名番号
(簡易申告・簡易分離（住民税申告書）のみ)
- ➡ 連番 項目数が 50 を超える場合に 2・3・4 と増える。通常は 1（項番・データの項目数が 1 レコードで最大 50 だが、50 項目を超える入力がある場合には 2 レコード目以降を作成し、連番を 2 とする。)
- ➡ 資料番号 ⑧に記入してあれば入力、以外は入力なし。
但し、サンプルレイアウトに⑧の記載がない場合には入力しない
- ➡ 徴収区分 1
- ➡ 異動区分 1
- ➡ 申告区分 ⑬に○が記入してあれば○がついている数字、以外は記入してある

数字、また、記入が無い場合は入力なし。（簡易申告・簡易分離（住民税申告書）のみ）

- ➡ 世帯員扶養関係・扶養者宛名番号..... ④の項番 401～412 に前年の関係、宛名番号の記載がある場合、前年の関係、宛名番号をセットで入力します。（簡易申告・簡易分離（住民税申告書）のみ）
- ➡ 項番・データ 記入があれば、項番とデータをセットで入力します。
- ➡ 不明フラグ イメージパンチを行う市町村のみ入力（1.4 参照）
イメージパンチを行う市町村以外は、「0」を入力。
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力
※スキャニングを行う場合のみ使用
- ➡ 個人番号 ⑮に記載されている番号を入力

1.2.3. 申告書の入力（未入力分）※イメージパンチを行う場合のみ使用します。

様式が違う等の理由により、内容が入力できなかった資料です。資料を枠だけパンチします。

※不明フラグ 9 のデータ

- ➡ 区分 3（申告書）を入力
- ➡ 不明フラグ 9
- ➡ イメージ番号 スキャナーで打番したイメージ番号（1.3 参照）を入力

1.3.イメージ番号について

J A X X X K K K K N N N N N N N N (XXX: 帳票NO KKKK: 管理NO NNNNNN: 管理NO 毎の連番)

(例) J A 0 4 0 1 0 0 1 0 0 0 0 5 0 . . . 住民税申告書で管理NOが1001、連番が50の資料

上記の通り、年度毎に一意となる番号を付番してください。

※ハイフンは必要ありません。

※スキヤニングを行わない場合は入力する必要はありません

1.4.不明フラグについて

イメージパンチを行うときのみ使用してください。(フセン処理の代わりとして用いる項目です。)

入力する明細の内容により、以下の番号を入力してください

0 ... 入力に問題なし。

1 ... 要確認 (ある程度中身のパンチをしているが、確認をしていただく項目がある)

※項目の一部が確実に判断できない場合など。

9 ... 未入力 (資料を枠だけパンチしているので、実際に入力が必要な資料が確認していただく必要がある)

※ 複写分が混じっていた場合や、異なる様式の資料であった場合。

※ 入力が必要な項目は、1.2.3.申告書の入力 (未入力分) を参照してください。

◎ 表紙

冊号		①			件数		②		
資料区分	☐ 給報 (☐ 特徴 ・ ☐ 普徴 ・ ☐ 専従) ☐ 年報 ☐ 簡易申告書 ③								
	年調区分		☐ 1. 年調済み ☐ 2. 年調なし						
	分類	入力区分			指定番号				

※この用紙をパンチ入力資料冊子の1枚目に添付します。

※年報で、事業所毎に管理する分では、事業所単位で添付と指定番号の記入が必要です。

※年報で、事業所毎に管理しない分では、指定番号は空欄にしてください。

◎ 住民税申告書（左） ※赤枠内の記入がある項目について入力を行う。

7 世帯状況に関する事項

氏名	生年月日	年令	国保	後期	年金	老未	福祉	扶養関係				
	続柄	備考						項番	前年の関係	宛名番号	同・別	障害
								401	④			
								402				
								403				
								404				
								405				
								406				
								407				
								408				
								409				
								410				
								411				
								412				

(備考)

◎ 住民税申告書 (右) ※赤枠内の記入がある項目について入力を行う。

市 県 民 税
年度分 国民健康保険税 申告書
介護保険料

⑧ 右上もしくは右下

現住所		業種又は職業
1月1日現在の住所 ⑥	電話番号	
提出年月日	ふりがな	個人番号 ⑮
年 月 日	氏名 (H)	
生年 月 日 ⑭	世帯主の氏名	続柄

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

32	社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料	円
		国保		
		年金		
		合計		
34	生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計	円
		56	44	
		新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計	円
		57	45	
		介護医療保険料の計		円
		58		
35	地震保険料控除	旧長期保険料の計	地震保険料の計	円
		46	47	
37~38	養育控除 ひとり親控除 勤労学生控除	☐ 寡婦控除 ☐ 死別 ☐ 生死不明 ☐ 離婚 ☐ 未婚	☐ ひとり親控除 ☐ 勤労学生控除 (学校名)	
38	障害者控除	氏名	障害の程度	程度
		個人番号 921		
		氏名	障害の程度	程度
		個人番号 922		
39~40	配偶者控除 配偶者特別控除 同一生計配偶者	氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 900		
		配偶者の合計所得金額	48	円
41	扶養控除	氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 901		
		氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 902		
		氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 903		
		氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 904		
		別居の扶養親族等がある場合には、裏面「15」に氏名及び住所を記入してください。		
16	雑損控除	氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 911		
		氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 912		
		氏名	生年月日	同・大・相 平・金
		個人番号 913		
30	雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類
		損害金額	保険などで補てんされる金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額
		円	円	円
31	医療費控除	医療費控除の特例	支払った医療費	保険などで補てんされる金額
		106	104	105

5 控除項目の内訳に関する事項

本人該当	配偶者	扶養	障害	強 制 課 税
障害 特別 其他	寡婦 ひ親 勤労 未成年	有 老人 年少 一般 特定	老人 同居 合計	特 障 合計 其他
71 72 74 76 77 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88	73 75 78 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99	100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116	117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200	201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300
住宅借入金等特別控除 (附則第4-2条第1項)				
合計所得金額				
102				
108 109 110 111 112 113 114 115 116				
103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200				
※前年中に所得のなかった人は、裏面「16所得のなかった人に関する事項」に記入をして提出してください。				

1	事業	営業等	1	円
		営業	91	
		農業	2	
		肉用牛	3	
		漁業	4	
		不動産	5	
		利子	6	
		配当	7	
		給付	8	
		一般区	64	
		専従	9	
		公的年金等	10	
		業務	60	
		その他	61	
		短期	12	
		長期	13	
		一時	14	
		肉牛売却	15	
2	事業	営業等	16	
		営業	92	
		農業	17	
		肉用牛	18	
		漁業	19	
		不動産	20	
		利子	21	
		配当	22	
		給付	23	
		公的年金等	24	
		業務	62	
		その他	63	
		合計	65	
		総合譲渡・一時	26	
		純損失	28	△
		雑損失	29	△
4	所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	32	
		小規模企業共済等掛金控除	33	
		生命保険料控除	34	
		地震保険料控除	35	
		寡婦、ひとり親控除	37	
		勤労学生・障害者控除	38	
		配偶者(特別)控除	39~40	
		扶養控除	41	
		特定親族特別控除	107	
		基礎控除	42	
		③から⑫までの計	59	
		雑損控除	30	
		医療費控除	31	
		合計	43	

青色	専従者内訳	専従者控除額
49	配偶者	50 1 51
	その他	52 人 53
非課税	所得区分	1.専従、2.専従、3.遺族、4.障害、5.労災、6.雇用、7.住居、8.無職、9.行方不明、10.その他
	54	55

異動	56	修削	申告	57	確定	住給未申	13
		3・9			1・2・3・7		

6 給与所得以外の市町村民税・道府県民税の納税方法	
☐ 給与から差引き (特別徴収)	☐ 自分で納付 (普通徴収)

◎住民税申告書（分離分）

※網掛け部分の記入がある項目について入力を行う。

市 県 民 税
年度分 国民健康保険税 申告書(分離課税等用)
介 護 保 険 料

フリガナ		生年月日	整理番号	
氏名			電話番号	

1 分離課税の短期・長期譲渡所得に関する事項

短期譲渡	区分	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除額	所得金額
					(収入金額－必要経費)		
	一般分		201		202	203	204
	軽減分		205		206	207	208
特例適用条文					209	条の の の 項 号	

長期譲渡	区分	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除額	所得金額
					(収入金額－必要経費)		
	一般の譲渡		210		211	212	213
	優良住宅等に係る譲渡		214		215	216	217
	居住用財産の譲渡		218		219	220	221
特例適用条文					222	条の の の 項 号	

2 株式等の譲渡等・先物取引に係る所得に関する事項

株式等の譲渡等	所得の種類	種目	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除額	所得金額
					(収入金額－必要経費)		
	一般株式	事業 譲渡 雑	223		224	225	
	上場株式	事業 譲渡 雑	227		228	229	
	先物取引	事業 雑	235		236		
上場株式繰越控除			93	先物繰越控除			94

3 上場株式等の配当所得に関する事項

所得の種類	支払確定年月	収入金額	必要経費	差引金額	上場配当繰越控除
				(収入金額－必要経費)	
上場株式等の配当	・	251		252	253

4 特定支出控除の適用がある場合の給与所得に関する事項

A 給与収入金額	B 特定支出の金額合計額	所得金額(A-B) (ただし赤字の場合は0)
円 238		

5 山林所得・退職所得に関する事項

山 林	A 収入金額		B 必要経費		差引金額(A-B)		C 特別控除額		D 青色申告特別控除額		所得金額(A-B-C-D)	
	239				240		241				242	
退 職	A 収入金額		勤続年数		普通 障害 の別		B 退職所得控除額		C 差引(A-B)		所得金額(C×1/2)	
	243		244		245						246	

6 変動所得・臨時所得に関する事項

		種目	A 収入金額	B 必要経費	C 青色申告特別控除額	所得金額(A-B-C)
1～8の所得のうち、変動所得・臨時所得の金額	変動	漁獲・のり・はまち・まだい ひらめ・かき・うなぎ・ほた て貝・真珠・真珠貝・原稿 料・作曲料・印税				247
	臨時	権 利 金 補 償 金 契 約 金				248

変動所得	平均課税対象全額
	250

この申告書（分離課税等用）は、市県民税申告書と一緒に提出してください。

※特例適用条文の入力は、7桁固定で入力。例：「3304010」

ファイル設計書

2025/12/18 11:02:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	パンチインデックスレイアウト (index.csv)			作成者	大村

【固定】レイアウト

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数:	備考		
					1行目	2行目	3行目以降
1 項目 1		NN	文字	17	業務コード	帳票枚数識別値	イメージ番号
2 項目 2			文字	21	帳票 NO		イメージファイル名
3 項目 3			文字	3	年度		

【可変】レイアウト

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数:	備考			
					1行目	2行目	3行目以降 (バースコード部)	3行目以降 (データ部)
1 項目 1		NN	文字	17	業務コード	帳票枚数識別値	区切り値	イメージ番号
2 項目 2			文字	21	帳票 NO			イメージファイル名
3 項目 3			文字	3	年度			

ファイル設計書

2025/09/25 18:18:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
1 区分		NN	数字	1	“1”	”2”	”4”	“3”	“1”	“3”		
2 バッチ連番		NN	数字	4	(1)				(1)			
3 処理コード			数字	5								
4 件数			数字	4	(2)	(3)			(2)			
5 指定番号			数字	12		(5)			(6)			
6 整理番号			数字	5				(6)				
7 受給者番号			文字	25				(7)				
8 パンチカナ氏名			文字	25				(8)		(6)		
9 パンチ生年月日			数字	7				(54)		(7)		
10 宛名番号			数字	12								
11 資料番号			数字	17				(55)		(55)		
12 徴収区分			数字	1	(3)		(1)		“3”	“3”		
13 普徴区分			数字	1				(9)				
14 支払金額			数字	9				(10)				
15 給与所得控除後の金額			数字	9				(11)				
16 所得控除合計額			数字	9				(12)				
17 源泉徴収税額			数字	9				(13)				
18 控対配有り			数字	1				(14)		(17)		
19 控対配なし			数字	1								
20 控対配老人			数字	1				(16)		(19)		
21 配偶者(特別)控除			数字	6				(17)				
22 扶養特定			数字	1				(18)		(20)		
23 扶養同居老親			数字	1				(19)				
24 扶養老人合計			数字	1				(20)		(21)		
25 扶養一般			数字	2				(21)		(22)		
26 特別障害同居			数字	1				(22)		(27)		
27 特別障害合計			数字	1				(23)		(23)		
28 その他障害			数字	1				(24)		(24)		
29 社会保険料控除			数字	9				(25)		(25)		

ファイル設計書

2025/09/25 18:18:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
30 小規模企業共済掛金控除			数字	9				(26)				
31 生命保険料控除			数字	9				(27)				
32 地震保険料控除			数字	9				(28)				
33 住宅取得等特別控除			数字	9				(29)				
34 特別減税額			数字	9								
35 前職分給与支払額			数字	9				(35)				
36 配偶者所得			数字	9				(30)	(30)			
37 旧個人年金保険料支払額			数字	9				(31)				
38 旧長期損害保険料支払額			数字	9				(32)				
39 本人夫あり			数字	1								
40 本人未成年者			数字	1				(37)				
41 乙欄区分			数字	1				(38)				
42 本人特別障害			数字	1				(39)	(14)			
43 本人その他障害			数字	1				(40)	(15)			
44 本人老年者			数字	1								
45 本人寡婦			数字	1				(42)	(29)			
46 本人寡婦 (特別)			数字	1								
47 本人寡夫			数字	1								
48 本人勤労学生			数字	1				(45)				
49 本人死亡退職			数字	1				(46)				
50 本人災害者			数字	1				(47)				
51 本人外国人			数字	1				(48)				
52 就職区分			数字	1				(49)				
53 退職区分			数字	1				(50)				
54 年			数字	2				(51)				
55 月			数字	2				(52)				
56 日			数字	2				(53)				
57 入力区分			数字	2”3 0”					(5)01~13			
58 種別名称			日本語	10								

ファイル設計書

2025/09/25 18:18:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
59 年金支払額 1			数字	9						(8)		
60 年金源泉税額 1			数字	9						(9)		
61 年金支払額 2			数字	9						(10)		
62 年金源泉税額 2			数字	9						(11)		
63 年金支払額 3			数字	9						(12)		
64 年金源泉税額 3			数字	9						(13)		
65 種別コード			数字	1								
66 不明フラグ			数字	1								
67 イメージ番号			文字	15								
68 国民年金保険料			数字	12				(56)				
69 パンチ連番			数字	8								
70 住宅借入金控除可能額			数字	9				(57)				
71 年調区分			数字	1	(4)							
72 件数 2			数字	4								
73 特別徴収義務者コード			数字	3								
74 性別コード			数字	1								
75 氏名 (漢字)			文字	25								
76 郵便番号			数字	7								
77 住所 (漢字)			文字	80								
78 居住開始年 1			数字	2				(58)				
79 居住開始月 1			数字	2				(58)				
80 居住開始日 1			数字	2				(58)				
81 住宅借入金等特別控除区分 1			数字	2				(59)				
82 借入金等年末残高 1			数字	8				(60)				
83 居住開始年 2			数字	2				(61)				
84 居住開始月 2			数字	2				(61)				
85 居住開始日 2			数字	2				(61)				
86 住宅借入金等特別控除区分 2			数字	2				(62)				
87 借入金等年末残高 2			数字	8				(63)				

ファイル設計書

2025/09/25 18:18:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
88 住宅借入金等特別控除適用数			数字	1				(64)				
89 16 歳未満扶養親族			数字	2				(65)		(26)		
90 旧生命保険料支払額			数字	9				(67)				
91 新生命保険料支払額			数字	9				(66)				
92 新個人年金保険料支払額			数字	9				(69)				
93 介護医療保険料支払額			数字	9				(68)				
94 訂正区分			数字	1				(70)		(70)		
95 条約免除区分			数字	1				(71)				
96 数値予備 1			数字	5								
97 数値予備 2			数字	5								
98 数値予備 3			数字	5								
99 特定取得区分 1			数字	1								
100 特定取得区分 2			数字	1								
101 年金支払額 4			数字	9						(72)		
102 年金源泉税額 4			数字	9						(73)		
103 個人番号・法人番号			数字	13		(6)		(76)		(76)		
104 配偶者個人番号			数字	12				(77)		(77)		
105 扶養親族個人番号 1			数字	12				(78)		(78)		
106 扶養親族個人番号 2			数字	12				(79)		(79)		
107 扶養親族個人番号 3			数字	12				(80)				
108 扶養親族個人番号 4			数字	12				(81)				
109 16 歳未満個人番号 1			数字	12				(82)		(82)		
110 16 歳未満個人番号 2			数字	12				(83)		(83)		
111 16 歳未満個人番号 3			数字	12				(84)				
112 16 歳未満個人番号 4			数字	12				(85)				
113 扶養親族欄外有無			数字	1				(86)				
114 16 歳未満欄外有無			数字	1				(87)				
115 非居住者の親族の数			数字	2				(88)		(88)		
116 基礎控除			数字	10				(89)				

ファイル設計書

2025/09/25 18:18:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		MAX件数	人口	容量	
ファイル名	給報パンチレイアウト (DAKYUHO.CSV)			作成者	高山

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考							
					給報(特徴・普徴・専従)				年金給報			
					冊号	総括表	仕切	給報	冊号	給報		
117 所得金額調整控除			数字	10				(90)				
118 ひとり親			数字	1				(91)		(91)		
119 予備項目文字			文字	300								
120 源泉徴収時所得税減税 控除済額			数字	12				(92)		(92)		
121 控除外額			数字	12				(93)		(93)		
122 非控除対象配偶者 減税有			数字	1				(94)				
123 特定親族			数字	2				(95)				
124 特定親族特別控除			数字	12				(96)				
124 扶養親族の区分 1			数字	2				(97)				
125 扶養親族の区分 2			数字	2				(98)				
126 扶養親族の区分 3			数字	2				(99)				
127 扶養親族の区分 4			数字	2				(100)				

※金額等にマイナスがある場合は数字の前にマイナス「-」を入力してください。(ex.) -10000)

※給報(特徴、普徴、専従者)および年金給報についてこのレイアウトでデータを作成してください。(全て同じファイル名(DAKYUHO.CSV)です。)

※冊号、総括表、給報は全て同一のレイアウトです。それぞれ指示のある項目に該当する項目を入力してください。

ファイル設計書

2025/08/27 11:27:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	システム名	当初入力
R L		MAX 件数	人口	容量	
ファイル名	申告書パンチレイアウト (JASHINKOKUSYO. CSV)			作成者	大村

項目名:	KEY TYPE	Null/ Unique	TYPE	桁数	備考			
					簡易申告書・分離		還付申告書	
					冊 号	申告書	冊 号	申告書
1 区分		NN	数字	1	“ 1 ”	“ 3 ”	“ 1 ”	“ 3 ”
2 パッチ連番		NN	数字	4	①		①	
3 処理コード			数字	5				
4 件数			数字	4	②		②	
5 資料区分			数字	1	“ 1 ”		“ 4 ”	
6 指定番号			数字	12				
7 整理番号			数字	5				
8 受給者番号			文字	25				
9 パンチかな氏名			文字	25		⑥		⑥
10 パンチ生年月日			数字	7		⑭		⑭
11 宛名番号			数字	12		⑤		
12 個人連番			数字	1		1 ～		1 ～
13 資料番号			数字	17		⑧		⑧
14 徴収区分			数字	1		“ 1 ”		“ 1 ”
15 異動区分			数字	1		“ 1 ”		“ 1 ”
16 今年申告区分			数字	2		⑬		“ 1 ”
17 世帯員扶養関係			数字	3	Occurs	④Occurs	Occurs 12	
18 扶養者宛名番号			数字	12	12	12		
19 項番			文字	3	Occurs 50		Occurs 50	
20 データ			数字	12				
21 不明フラグ			数字	1				
22 イメージ番号			文字	15				
23 パンチ連番			数字	8				
24 納税者番号			数字	10				
25 個人番号			数字	12		⑮		

ファイル設計書

2025/08/27 11:27:00

業務コード	J A	システム名	個人住民税	サブシステム名	当初入力
R L		M A X 件数	人口	容量	
ファイル名	申告書パンチレイアウト (JASHINKOKUSYO. CSV)			作成者	大村

※金額等にマイナスがある場合は数字の前にマイナス「－」を入力してください。（ex.）-10000）

※冊号、申告書は同一のレイアウトです。それぞれ指示のある項目に該当する項目を入力してください。

※世帯員扶養関係、扶養者宛名番号について、12項目に満たない場合でも12項目分作成してください。項目が無ければ区切り（カンマ）のみで作成してください。必ず対（世帯員扶養関係、扶養者宛名番号）で入力してください。

※項番、データについて、50項目に満たない場合でも50項目分作成してください。項目が無ければ区切り（カンマ）のみで作成してください。必ず対（項番、データ）で入力してください。

項目数が50を超える場合は、2レコード目以降を作成して51項目目以降を入力しますが、その他の項目（世帯員扶養関係、扶養者宛名番号以外）について全て入力してください。

令和6年度 申告書項番表(住民税申告書)

項番	項目名	備考	ユーザー対応分
収入金額(総合分)			
1	収入 営業等		
91	(営業等内訳)収入 営業		
4	(営業等内訳)収入 漁業		
2	収入 農業		
3	収入 肉用牛		
15	肉用牛免外売却		
5	収入 不動産		
6	収入 利子		
7	収入 配当 適用		
8	収入 給与一般		
9	収入 専従給与		
238	給与 特定控除		
10	収入 公的年金		
11	収入 雑	R02年分以降 未使用	
60	内)収入 業務雑	R02年分 新規追加	
61	内)収入 その他雑	R02年分 新規追加	
12	収入 総合短期		
13	収入 総合長期		
14	収入 一時		
収入金額(分離分)			
201	収入 短期一般		
205	収入 短期軽減		
210	収入 長期一般		
214	収入 長期優良		
218	収入 長期居住		
223	収入 有価証券(未公開・一般株式)		
227	収入 有価証券(上場株式)		
235	収入 先物取引		
239	収入 山林		
243	収入 退職		
251	収入 配当(上場株式)		
所得(総合分)			
16	所得 営業等		
92	(営業等内訳)所得 営業		
19	(営業等内訳)所得 漁業		
17	所得 農業		
18	所得 肉用牛		
20	所得 不動産		
21	所得 利子		
22	所得 配当 適用		
23	所得 給与		
24	所得 公的年金		
25	所得 雑	R02年分以降 未使用	
62	内)所得 業務雑	R02年分 新規追加	
63	内)所得 その他雑	R02年分 新規追加	
65	所得 雑合計	R02年分 新規追加 ※パンチ対象外	
26	所得 譲渡・一時		
27	合計所得金額		
64	所得金額調整控除適用区分	R02年分 新規追加	
所得(分離分)			
202	特控前 短期一般		
206	特控前 短期軽減		
211	特控前 長期一般		
215	特控前 長期優良		
219	特控前 長期居住		
224	所得 有価証券(未公開・一般株式)		
228	所得 有価証券(上場株式)		
236	所得 先物取引		
240	所得 山林		
246	所得 退職		
252	所得 配当(上場株式)		
特別控除額			
203	特控 短期一般		
207	特控 短期軽減		
212	特控 長期一般		

令和6年度 申告書項番表(住民税申告書)

項番	項目名	備考	ユーザー対応分
216	特控 長期優良		
220	特控 長期居住		
241	特控 山林		
209	特例条文短期		
222	特例条文長期		
繰越損失			
28	純損失の金額		
29	雑損失の金額		
93	株式譲渡等繰越損失		
94	先物損失		
253	上場配当等繰越損失		
所得控除等			
32	社会保険料控除		
33	小規模共済控除		
34	生命保険料控除		
56	新契約 生命保険 支払額		
44	旧契約 生命保険 支払額		
57	新契約 個人年金 支払額		
45	旧契約 個人年金 支払額		
58	介護医療 支払額		
35	地震保険料控除		
46	旧損保 長期支払額		
47	地震保険料支払額		
104	医療費 支払額		
105	医療費 補てんされる金額		
106	医療費控除の特例区分		
37	寡婦、ひとり親控除	R02年分以降 名称変更	
38	勤労学生控除	R05年分以降 未使用	
39	配偶者控除	R02年分以降 未使用	
48	配偶者所得		
40	配偶者特別控除	R02年分以降 未使用	
107	特定親族特別控除	R08新規追加	
42	基礎控除		
59	③②から④②までの小計	R01新規追加	
30	雑損控除	R01記載順の変更	
31	医療費控除	R01記載順の変更	
43	所得控除合計額		
サイン情報			
71	本人 特別障害		
72	本人 その他障害		
73	本人 老年者		
74	本人 寡婦		
75	本人 寡夫	R02年分以降 未使用	
70	本人 ひとり親	R02年分 新規追加	
76	本人 勤労学生		
77	本人 未成年		
78	本人 夫あり		
79	配偶者 有り		
80	配偶者 有り老人		
81	扶養 一般		
82	扶養 特定		
83	扶養 同居老親		
84	扶養 老人合計		
85	扶養 特障 同居		
86	扶養 特障 合計		
87	扶養 その他障害		
89	扶養 年少		
108	扶養 特定親族(58万円超 85万円以下)	R08新規追加	
109	扶養 特定親族(85万円超 90万円以下)	R08新規追加	
110	扶養 特定親族(90万円超 95万円以下)	R08新規追加	
111	扶養 特定親族(95万円超 100万円以下)	R08新規追加	
112	扶養 特定親族(100万円超 105万円以下)	R08新規追加	
113	扶養 特定親族(105万円超 110万円以下)	R08新規追加	
114	扶養 特定親族(110万円超 115万円以下)	R08新規追加	

令和6年度 申告書項番表(住民税申告書)

項番	項目名	備考	ユーザー対応分
115	扶養 特定親族(115万円超 120万円以下)	R08新規追加	
116	扶養 特定親族(120万円超 123万円以下)	R08新規追加	
税額控除			
90	配当割		
97	譲渡割		
95	住宅借入金等控除額(住民税見込)		
96	住宅借入金等控除可能額(H18年度以前分)		
102	住宅借入金等控除可能額(H21年度以降分)		
103	住宅借入金控除特定取得該当 (平成26年4月1日以降居住分で消費税8・10% 該当分)		
98	寄附金(都道府県、市区町村分【特例控除対象】)	R01項目名称の変更	
99	寄附金(共同募金会・赤十字支社等分、都道府県、市区町村分【特例控除対象外】)	R01項目名称の変更	
100	寄附金(都道府県適用分)		
101	寄附金(市町村適用分)		
所得税関連			
802	所得税 生命保険料控除		
803	所得税 地震保険料控除		
804	所得税 配偶者特別控除		
809	所得税 寄附金控除		
810	所得税 政党等寄附金等控除		
811	所得税 特定寄附金		
812	所得税 内)震災関連寄附金		
813	所得税 内)特定震災指定寄附金		
814	所得税 内)認定NPO寄附金		
815	所得税 内)政党等寄附金		
その他			
(専従関連)			
49	青色申告区分		
50	専従者 配偶者		
51	専従控除 配偶者		
52	専従者 その他		
53	専従控除 その他		
(退職関連)			
244	退職 勤続年数		
245	退職 障害区分		
(その他区分等)			
54	非課税所得区分		
55	非課税所得金額		
88	強制課税区分		
247	平均課税 所得		
248	平均課税 臨時		
249	平均課税 前年		
250	平均課税 前々年		
801	申告書不要		
(番号制度関係)			
900	配偶者一人番号		
901	控除対象扶養親族一人番号1		
902	控除対象扶養親族一人番号2		
903	控除対象扶養親族一人番号3		
904	控除対象扶養親族一人番号4		
905	控除対象扶養親族一人番号5		
906	控除対象扶養親族一人番号6		
907	控除対象扶養親族一人番号7		
908	控除対象扶養親族一人番号8		
909	控除対象扶養親族一人番号9		
910	控除対象扶養親族一人番号10		
911	16歳未満扶養親族一人番号1		
912	16歳未満扶養親族一人番号2		
913	16歳未満扶養親族一人番号3		
914	16歳未満扶養親族一人番号4		

令和6年度 申告書項番表(住民税申告書)

項番	項目名	備考	ユーザー対応分
915	16歳未満扶養親族－個人番号5		
916	16歳未満扶養親族－個人番号6		
917	16歳未満扶養親族－個人番号7		
918	16歳未満扶養親族－個人番号8		
919	16歳未満扶養親族－個人番号9		
920	16歳未満扶養親族－個人番号10		
921	障害者－個人番号1		
922	障害者－個人番号2		
923	障害者－個人番号3		
924	障害者－個人番号4		
925	障害者－個人番号5		
926	障害者－個人番号6		
927	障害者－個人番号7		
928	障害者－個人番号8		
929	障害者－個人番号9		
930	障害者－個人番号10		
931	専従者－個人番号1		
932	専従者－個人番号2		
933	専従者－個人番号3		
934	専従者－個人番号4		
935	専従者－個人番号5		
936	専従者－個人番号6		
937	専従者－個人番号7		
938	専従者－個人番号8		
939	専従者－個人番号9		
940	専従者－個人番号10		
(ユーザー独自対応)			
805	調査コード		ユーザー独自対応
806	調査区分		ユーザー独自対応
807	発送コード		ユーザー独自対応
808	所得税入力値(保育料判定用)		ユーザー独自対応

仕様書（補足）

(1) イメージデータおよびイメージファイル名について

イメージデータは、JPEG ファイル（. jpg）で作成すること。

イメージファイル名は、以下のとおりとすること。その際、ハイフンも入れること。

「帳票 ID－冊号－連番」（3桁－4桁－6桁（冊号3桁・連番3桁））

【作成例】冊号 910 で、1 ページ目の給報（帳票 ID：010）の場合

・イメージファイル名 JA010-0910-910001

(2) イメージ番号について

イメージ番号は、以下のとおりとすること。実際の入力時にハイフンは不要。

「帳票 ID－21－連番」（3桁－2桁（固定値）－6桁（冊号3桁・連番3桁））

【作成例】冊号 910 で、1 ページ目の給報（帳票 ID：010）の場合

・イメージ番号 01021910001

(3) 給報（特徴分）における指定番号のパンチについて 《データ入力およびイメージ化処理の場合》

総括表の様式によって、指定番号の記載位置が異なり、給報（特徴分）においては、すべての総括表に指定番号を記載しているため、必ずパンチを行うこと。

(4) 課税資料への打番位置について

・課税資料の左上に打番すること。

・バッチ表紙は連番の下1桁を「0」とすること。その際、イメージデータの作成は不要とする。

・打番内容は、以下のとおりとする。この際はハイフンも打番すること。

「帳票 ID－冊号－連番」（3桁－4桁－6桁（冊号3桁・連番3桁））。

【作成例】

冊号 910 で、1 ページ目の給報（帳票 ID：010）の場合

010-0910-910001

(5) 市申告書の取り扱いについて

・表ページのみに打番し、バッチ表紙を「(省略) 000」とし、以降表面のみに「(省略) 001」、「(省略) 003」、・・・とすること。

・イメージデータの作成は、両面を片面ずつ作成すること。（1 データにつき 1 面）

(6) index.csv の作成について（仕様書「1. パンチインデックス入力仕様（令和7年度版）」参照）

①給報、年報の場合

【作成例】 冊号 152 の平成 31 年度給報（帳票 ID : 010）の場合

住民税, 010, 431
1, ,
01021152001, JA010-0152-152001. jpg,
01021152002, JA010-0152-152002. jpg,
01021152003, JA010-0152-152003. jpg,
01021152004, JA010-0152-152004. jpg,

②市申の場合

【作成例】 冊号 037 の平成 31 年度市申（帳票 ID : 300）の場合

index, csv	課税資料
住民税, 300, 431	
0, ,	
30021037001, JA300-0037-037001. jpg,	【申告書】 (表) 300-0037-037001. jpg (裏) 300-0037-037002. jpg 打番(表) 300-0037-037001
30021037001, JA300-0037-037002. jpg,	
-1, ,	
30021037002, JA300-0037-037003. jpg,	【申告書】 (表) 300-0037-037003. jpg (裏) 300-0037-037004. jpg 打番(表) 300-0037-037002
30021037002, JA300-0037-037004. jpg,	
-1, ,	
30021037003, JA300-0037-037005. jpg,	【申告書】 (表) 300-0037-037005. jpg (裏) 300-0037-037006. jpg 打番(表) 300-0037-037003
30021037003, JA300-0037-037006. jpg,	
30021037003, JA300-0037-037007. jpg,	【添付資料】 (表) 300-0037-037007. jpg (裏) 300-0037-037008. jpg 打番(表) 300-0037-037004
30021037003, JA300-0037-037008. jpg,	
-1, ,	
30021037005, JA300-0037-037009. jpg,	【申告書】 (表) 300-0037-037009. jpg (裏) 300-0037-037010. jpg 打番(表) 300-0037-037005
30021037005, JA300-0037-037010. jpg,	
-1, ,	
【参考】 インデックスファイル作成例 30021037001, 431, 000002516233, , 1 30021037002, 431, 000003016847, , 1 30021037003, 431, 000002141531, , 1 30021037005, 431, 000003010437, , 1	

③ 確申の場合

【作成例】 冊号 604 の平成 31 年度確申（帳票 ID : 260）の場合

index.csv

課税資料

住民税, 260, 431 0, , 26021604001, JA260-0604-604001. jpg, 26021604001, JA260-0604-604002. jpg, 26021604001, JA260-0604-604003. jpg, -1, , 26021604004, JA260-0604-604004. jpg, 26021604004, JA260-0604-604005. jpg, -1, , 26021604006, JA260-0604-604006. jpg, 26021604006, JA260-0604-604007. jpg, 26021604006, JA260-0604-604008. jpg, 26021604006, JA260-0604-604009. jpg, -1, ,	(p. 1) 260-0604-604001. jpg → 打番 260-0604-604001 (p. 2) 260-0604-604002. jpg → 打番 260-0604-604002 (p. 3) 260-0604-604003. jpg → 打番 260-0604-604003 (p. 1) 260-0604-604004. jpg → 打番 260-0604-604004 (p. 2) 260-0604-604005. jpg → 打番 260-0604-604005 (p. 1) 260-0604-604006. jpg → 打番 260-0604-604006 (p. 2) 260-0604-604007. jpg → 打番 260-0604-604007 (p. 3) 260-0604-604008. jpg → 打番 260-0604-604008 (p. 4) 260-0604-604009. jpg → 打番 260-0604-604009
--	--

【参考】 インデックスファイル作成例

26021604001, 431, 000002839717, , 1
26021604004, 431, 000002951983, , 1
26021604006, 431, 000002750686, , 1

(7) イメージデータ作成のみのインデックスファイルの作成について

イメージデータ作成のみの場合は、index.csv とは別に、別途インデックスファイルを作成すること。
イメージファイル 1 つにつきイメージ番号ごとに 1 ファイル作成する。

【作成例】

01021001001, 430, 000001234567, , 1（イメージ番号、課税年度、宛名番号（12 桁）、1（固定値））

01021001002, 430, 000009876543, , 1（イメージ番号、課税年度、宛名番号（12 桁）、1（固定値））

※CSV 形式（カンマ編集）でレコードを出力すること。

※パンチインデックスファイルと混同しないようファイルを格納すること。

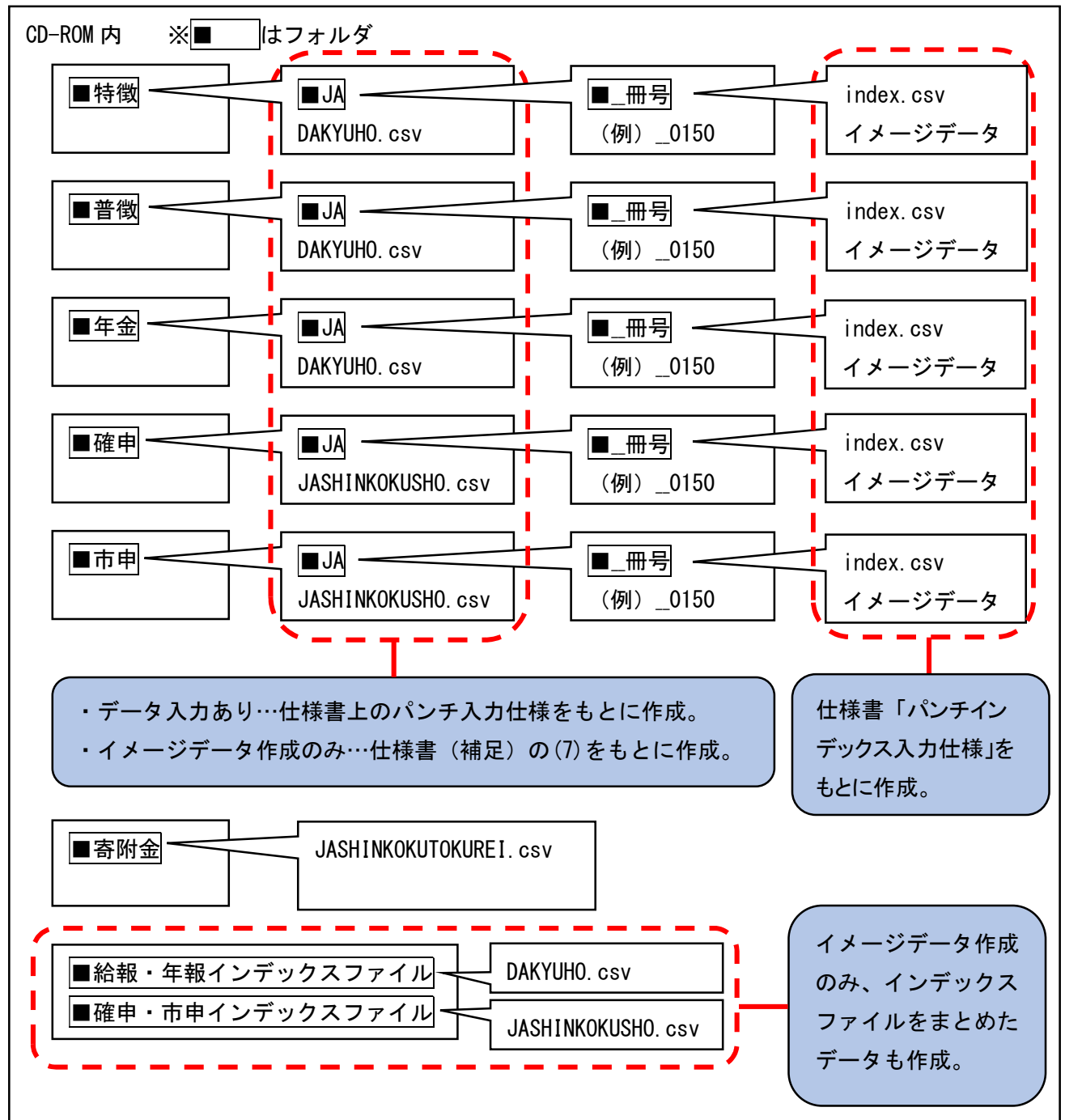
※このインデックスファイルのデータ名は、以下のとおりとすること。

- ・ 給報・年報・・・DAKYUHO.csv
- ・ 確申・市申・・・JASHINKOKUSHO.csv

※確定申告書は第 1 表（または申告書の表）、市申告書は申告書の表のみ作成すること。

※納品時は、給報、年報、市申、確申ごとのインデックスファイルデータと、給報および年報、市申および確申でそれぞれまとめたインデックスファイルデータを用意すること。

(8) 格納するデータ内容について



課税年度

平成

年度

市民税・県民税(国民健康保険税)申告書

受付者

(あて先)守山市長 平成 年 月 日 提出

資料(イメージ)番号

1月1日現在の住所	氏名	印	生年月日	明治・大正・昭和・平成
現住所	個人番号		年 月 日生	
	電話		職業	

整理番号

宛名番号

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

⑩ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類	1 収入金額等	事業	営業等	ア	
	損害金額	保険金などで補填される金額	差し損失額のうち災害関連支出の金額			農業	イ	
	円	円	円			不動産	ウ	
⑪ 医療費控除	支払った医療費	保険金などで補填される金額				利子	エ	
	円	円				配当	オ	
⑫ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料				給与	カ	
						公的年金等	キ	
	合計					その他の短期	ク	
⑭ 生命保険料控除	新生命保険の計	旧生命保険料の計				長期	コ	
						一時	サ	
	新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計				営業等	①	
	介護医療保険料の計					専業	②	
⑮ 地震保険料控除	地震保険料の計	長期損害保険料の計				不動産	③	
	円	円				利子	④	
⑯～⑰ 寡婦(寡夫)、勤労学生控除	⑯ □ 寡婦(寡夫)控除	⑰ □ 勤労学生控除				配当	⑤	
	□ 死別 □ 生死不明	(学校名)				給与	⑥	
	□ 離婚 □ 未婚					総合譲渡一時	⑦	
⑱ 障害者控除	氏名	障害の程度				合計	⑧	
	氏名	障害の程度					⑨	
⑲～⑳ 配偶者控除・配偶者特別控除	配偶者の氏名	生年月日	所得					
		配偶者の合計所得金額	円					
㉑ 扶養控除	氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄	控除額	4 所得から差し引かれる金額		
		明・大昭・平	□ 同居		万円	雑損控除	⑩	
		明・大昭・平	□ 別居			医療費控除	⑪	
		明・大昭・平	□ 同居			社会保険料控除	⑫	
		明・大昭・平	□ 別居			小規模企業	⑬	
		明・大昭・平	□ 同居			共済等掛金控除	⑭	
		明・大昭・平	□ 別居			生命保険料控除	⑮	
		明・大昭・平	□ 同居			地震保険料控除	⑯	
		明・大昭・平	□ 別居			寡婦(寡夫)控除	⑰	
㉒ 扶養親族等の控除(扶養親族以外)		平	□ 同居			勤労学生、障害者控除	⑱～⑳	
		平	□ 別居			配偶者控除	⑲	
		平	□ 同居			配偶者特別控除	㉑	
		平	□ 別居			扶養控除	㉒	
			□ 同居			基礎控除	㉓	330,000
			□ 別居			合計	㉔	
別居の扶養親族等がある場合には、裏面「12」に氏名、個人番号及び住所を記入してください。			扶養控除額の合計			※所得税の控除額とは異なります。地方税法附則第4条の4の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の□に「1」と記入してください。		
5 給与・公的年金等に係る所得以外(平成 年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市民税・県民税の納税方法								
□ 給与から差引き(特別徴収) □ 自分で納付(普通徴収)								

裏面にも記載する欄がありますから注意してください。

資料（イメージ）番号

令和~~課税年度~~年度 市民税・県民税申告書 附表
(上場株式等の所得に関する住民税申告不要等申出書)

住 所

氏 名

生年月日

明治・大正
昭和・平成

年

月

日

電話番号

(整理番号

宛名番号

私は、所得税の確定申告をした(予定含む)所得のうち、上場株式等の譲渡所得等・配当所得等について、住民税では下記の課税方式を選択します。なお、下記以外の所得や控除については、所得税の確定申告書どおりとします。

1. 上場株式等の譲渡所得

- ☐ 住民税では全額申告しません。(源泉分離課税とします。)
- ☐ 全額を所得税の確定申告書どおりとします。
- ☐ 分離課税で申告します。住民税で申告する所得は下記のとおりとします。

収入金額	取得経費	差引金額 (所得金額)	源泉徴収税額	
			所得税	住民税(譲渡割)

2. 上場株式等の配当所得等(特定公社債等の利子所得も含む)

- ☐ 住民税では全額申告しません。(源泉分離課税とします。)
- ☐ 全額を所得税の確定申告書どおりとします。
- ☐ 住民税で申告する所得は下記のとおりとします。

申告方式	所得金額	源泉徴収税額	
		所得税	住民税(配当割)
☐ 総合 ☐ 分離			

3. 繰越控除

株	本年分の所得から差し引く繰越損失額
株	翌年以降に繰越される損失の金額
配当	本年分の所得から差し引く繰越損失額

注意事項

- 申告しないことを選択できる上場株式等の配当所得等及び譲渡所得等については、所得税 15.315%、住民税5%があらかじめ源泉徴収されているものとなります。(所得税 20.42%を源泉徴収されているものは対象ではありません。)
- 源泉徴収税額等に記載誤り等があり、上場株式等の所得と判断付かない場合は、住民税も所得税の確定申告書どおりの内容で課税することがあります。
- 申告不要制度を選択した場合、配当割額控除、譲渡割額控除および配当控除の適用はありません。
- その年度の納税通知書が送達される時までには市民税・県民税申告書を提出しなければ、所得税と住民税で異なる取り扱いとすることはできません。